



学校だより 9月号

板橋区立北野小学校 令和6年9月2日

…健やかに育つ学びのエリア(赤塚一中、北野小、徳丸小ブロック)…

パリオリンピックの感動、子供たちにも知ってほしいエピソード

統括校長 中川 久亨（なかがわひさみち）

この夏は、7月26日から8月11日までの2週間、パリオリンピックが開催され、観ているものにたくさんの感動を与えてくれました。印象に残っていることはたくさんあります。まず初めにメダルを獲得した、分かっているにもかかわらず逃げることができない巴投げの達人、柔道女子48kg級の角田夏実選手の金メダル。続いて、オリンピック2連覇が期待されていた柔道女子52kg級の阿部詩選手の2回戦敗退。1本負けした際には、信じられない気持ちでしばらく絶句しました。その他にも、男子バレーボールの世界ランク第2位のイタリア戦、セットカウント2対0、第3セット24対21のマッチポイント。絶対にいけるだろうとワクワクしていたもののそこから負けてしまったこと等々。

最も感動したのは『フェンシング男子フルーレ団体決勝』に出場した永野雄大選手のことです。強豪イタリアとの決勝は、第7試合終了時点で日本35対イタリア34の大接戦。その行方を託されたのは、ここまで出場機会のなかったリザーブ（控え）の永野雄大選手でした。その時のことを質問された永野選手は、「いや、ここで出るとかみたいなの…」 「頭が真っ白に…」とコメントしています。

永野選手のことでも驚いたことがあります。フェンシングのリザーブ選手とはいえ、正真正銘の日本代表選手ですから、待遇は正規の選手と同じだと思っていました。しかし、帰国後、その待遇について本人によると、「選手村に入れなかった。」そればかりでなく、「自分でタクシーを携帯電話で呼んで、20分かけて会場に行っていました。」つまり、選手村ではなく、一人離れてホテル暮らししていたことです。キャプテンの松山恭助選手によると、「選手村にはピザ窯があって、出されたピザは焼きたてでとてもおいしかったので、とても人気がありました。」と言っています。一方、永野選手の食事は、アルファ米のパックでお湯を入れて15分待てばよいもの。しかし、ホテルに湯沸かしポットみたいなものもなかったので、水を入れて1時間ずっと待ってただ食べるということをやっていましたと言っています。チームメートも驚く衣食住の格差です。

2年前にチームが結成されて以来、リザーブを務めてきた永野選手は、これまでも出場機会はほとんどなく、今回のオリンピックでも1回戦から出番がないまま迎えた決勝戦でした。リザーブメンバーは、たとえチームがメダルを獲得してもメダルはもらえないそうです。永野選手は「出場はしたい、しかし、出場するならばすぐ勝っているか、すぐ負けているかだろうな」と思っていたとのこと。

実際の決勝戦のゲームは一進一退の展開。永野選手は、「おそらく出番のないまま終わるだろう。」と思っていたとのことですが、日本30対イタリア28で第6試合を終えた直後、肩を叩かれて「お前出るよ」と言われたそうです。出場を告げられたのは出番のおよそ10分前。しかも、出番の時は、日本35対イタリア34という1点差の局面。「『ここで負けたら自分のせいになっちゃうな』ということはずっと考えていて、『もう帰りたい』って思いました。」という話も、ごもったもなことです。

迎えた第8試合、キャプテンの松山選手曰く、「彼は誰よりも練習していて、積み上げたものをこの1試合に全部ぶつけるという思いで言ったんですけど…。当の永野選手は頭が真っ白だったみたいで、言ったことは全部右から左へ流れているように見えました。大丈夫かな？硬いなと思ったんですけど…」

永野選手にとっては、突然やってきたオリンピック決勝の舞台ですが、そこからの記憶はないと言っています。この状況下で、永野選手はなんと5対0。この場面で初めてピストの上に立った永野選手は、考えられないほどの快拳を成し遂げました。最後に勝利を決めた飯村選手もこの勢いに乗って、5対2のポイントを取り、45対36となり、日本ではオリンピック史上、男子フルーレ団体で初の金メダルとなりました。

永野選手の出場時間は、わずか50秒ほど。これは、選手村に入ることも叶わなかった選手が成し遂げた、大逆転劇と言えるでしょう。記憶がないということは雑念もないということ。やってきたことが自然と出てきたのだと思います。

永野選手から、地道な努力こそが大切な時に力を発揮することができる原動力となることを教えてもらった気がします。努力した人が必ず報われるわけではありませんが、報われた人は必ず努力しているということ、子供たちに伝えていきたいと思っています。

今学期も様々な教育活動があります。今までと同様、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

8月8日に起きた日向灘を震源とする地震で被災されました方々に、心からお見舞いを申し上げます。

9月 行事予定		
日	曜	行事など
1	日	
2	月	始業式(全) 避難訓練 ☆
3	火	二計測(3・4) オーケストラワークショップ(6) SC ☆
4	水	給食始(全) 二計測(5・6) 放課後補習(5) SC 定時退勤日 ☆
5	木	二計測(1・2) 読み聞かせ(1・2・3) ☆
6	金	放課後補習(3) ☆
7	土	
8	日	
9	月	安全指導 委員会活動④ ☆
10	火	SC ☆
11	水	放課後補習(5) SC ☆
12	木	科学館移動教室(4) ☆
13	金	放課後補習(3) 校内研究授業(6年2組) ☆
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	歯科(全) SC ☆ オーケストラ鑑賞教室(5・6)5・6校時
18	水	学校公開(1校時～3校時公開予定) 放課後補習(5) SC ☆
19	木	
20	金	放課後補習(3) 北野こどもの日 ☆
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	SC ☆
25	水	放課後補習(5) SC 定時退勤日 ☆
26	木	
27	金	放課後補習(3) ☆
28	土	
29	日	
30	月	児童集会 前期あゆみ配布 クラブ活動④ ☆
☆	…	あいキッズ
SC	…	スクールカウンセラー来校日
()	…	学年

9月の生活目標

「規則正しい生活をしよう」

今月20日は「北野こどもの日」です。「北野こどもの日」は、朝の会等を通して、命の大切さや生命を尊重すること等について、児童も教職員も一緒になって考える日です。

第2回CS委員会報告

7月17日(水)に、第2回CS委員会が行われました。今回は初めて、代表委員の児童も参加し、「地域の方々と一緒に取り組みたい3つの提案」について考えました。まず、代表委員が作成したスライドにより、プレゼンテーションが行われ、その後、次の3つのテーマについて熟議を行いました。

○主な意見

【学校周辺や地域をきれいにしたい】

- ・幼稚園、保育園と連携して一緒に取り組んでもいいのではないか。
- ・ゴミを拾うだけでなく、減らす活動につなげることが重要である。

【学校・地域で力を合わせて人を助けたい】

- ・募金活動や文具を集めて送るといった活動が考えられる。
- ・地域の方と一緒に呼びかける、地域にポスターを掲示するといった方法で学校の募金活動の際に地域と連携して取り組む。

【SDGsの取組を地域を挙げて推進したい】

- ・フードドライブ活動に地域と共に取り組んでみたい。
- ・学校公開や学校行事を利用して、集める活動をする。
- ・社会福祉協議会や地域のスーパーと連携し、取り組むことができるのではないか。

今後も、より具体的な取組を考え、北野小の教育活動の充実を図っていきたいと考えています。

学校保健委員会報告

学校保健委員会は、本校児童の心身に關わる状況の情報収集と伝達を図り、よりよい育ちに向けその対策を協議し、学校医より指導助言を得る委員会です。今年度は、8月28日(水)に本校の学校医の先生、PTA役員、委員の皆様、本校関係教職員が参加し、実施しました。

本校児童の身体発育の状況、各種健診検査(内科・眼科・耳鼻科・歯科・視力)の結果、本校の体力向上の取り組み、板橋区の学校給食の概要や本校の給食の様子、食物アレルギー対応等についての話がありました。

各学校医の先生方からは、本校の児童の検査結果に基づく所見や学校保健活動についてのご指導をいただきました。詳しい内容につきましては、「ほけんだより」等でお伝えしていく予定です。

定時退勤日について

質の高い教育活動の実現を目指し、板橋区が策定した「板橋区立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、本校では教員の定時退勤日(16:30勤務終了)を設けています。9月の定時退勤日は、4日(水)、25日(水)の2日間です。定時退勤日は、16:30以降学校電話が繋がらなくなる場合がありますので、ご了承ください。